

オープン市場短信 (2010年8月)

2010.8.04

◆ 7月のCP市場動向

7月のCP新規発行額は約4兆6700億円となり、期落ち(約3兆8400億円:当月発行分含む)を大きく上回る発行となった(除く、金融機関発行CP・ABC P)。月末残高は、15兆8623億円と予想を上回り、6月対比7282億円の増加となった。発行業態としては、鉄鋼・電機・建設が大幅増加し、その他金融も若干増加した。一方、輸送機器・繊維・証券などが減少した。

発行レートの推移としては、発行増となったものの運用ニーズが優り、やや弱含みにて推移した。また、一般事業法人における銘柄間の格差も、かなり縮小傾向にある。

7月の新発(3M)物の発行金利は、最上位銘柄(a-1+格)が0.119%~0.129%、一般事業法人(a-1格)が0.120~0.142%、その他金融銘柄(a-1格)は0.122%~0.196%であった。

【格付け別の発行レート】

7月のCPLレートレンジ

(単位 %)

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
a-1+(オペ適格)	0.114% ~ 0.119%	0.116% ~ 0.126%	0.119% ~ 0.129%
a-1(オペ適格)	0.115% ~ 0.128%	0.120% ~ 0.132%	0.120% ~ 0.142%
a-1+(リース銘柄)	0.116% ~ 0.122%	— ~ —	0.124% ~ 0.124%
a-1(リース銘柄)	0.120% ~ 0.129%	0.122% ~ 0.180%	0.122% ~ 0.196%
a-2	0.126% ~ ケ1.00	0.164% ~ ケ1.00	0.130% ~ ケ1.00

《CPオペ》

7月のオペ実施は見送られた。

《ABC P》

7月末のABC P発行残高は、前月比143億円増加し約2兆3626億円となった。前年同月比では約4,596億円減少し、ABC Pは依然として組成ニーズが低迷している。

《短期社債残高》

証券保管振替機構発表資料から、業態別残高推移を見てみると、一般事業法人が6月対比11.83%、金融法人が5.6%、その他金融法人が1.2%それぞれ増加、ABC Pは微増に止まり、金融法人(証券)が5.7%減少となった。

7月、初発行を行なった企業は、三越伊勢丹HD、東海東京証券の2社。

証券保管振替機構での発行登録企業は491社、既発行企業は延べ497社となった。

【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	7月末残高	6月末残高	増減
一般事法	45,880	38,789	7,091
その他金融	56,581	55,461	1,120
金融機関	32,536	33,608	▲ 1,072
(政府系金融	0	0	0)
(銀行等	12,474	12,338	136)
(証券	20,062	21,270	▲ 1,208)
ABCP	23,626	23,483	143
計	158,623	151,341	7,282

(注:買入消却分含む)

《CP現先市場》

月中現先(S/N)レートは、レポレートの動きに影響を受けながらも、概ね安定的に推移した。月中平均レートは、0.117%弱であった。

◆ 8月のCP市場動向

8月中のCP償還額は約3兆9000億円で、前年同月の償還額(約3兆4500億円)を4ヶ月振りに上回っている(除く、金融機関発行CP・ABCP)。

今月は、お盆・夏季休暇のため中旬には発行がやや落ち込むことが予想されるが、月初から期落ちを上回る発行となっていることやショートターム物の発行が多いこともあり、ほぼ期落ち並みの発行となるのではないかと。

発行レートは、引き続き運用(購入)ニーズが強いことから、期内物はほぼ横ばい圏内で推移するだろう。9月末に対する期越えプレミアムはほぼ解消し、期越物も横這い圏内での動きとなろう。年越え物(5M物以上)には若干プレミアムが生じているが、今後徐々に縮小すると思われる。

一般事業法人(a-1格銘柄)では、低下余地も限られ3M物で0.11%台半ば~0.13%台前後となるだろう。その他金融・リース銘柄(a-1格銘柄)の3M物では0.12%台前半~0.18%近辺を、それぞれ予想する。

《CPオペ》

CP買い現先オペは、今月も実施されることは無いだろう。

《CP現先市場》

現先レートは、7月末越えでは大きな動きもなく、月が変わっても安定推移している。今月も、CP現先レートは債券レポレートに若干影響されると思われる。

るが、0.11%近辺～0.11%台後半の狭いレンジでの動きが予想される。

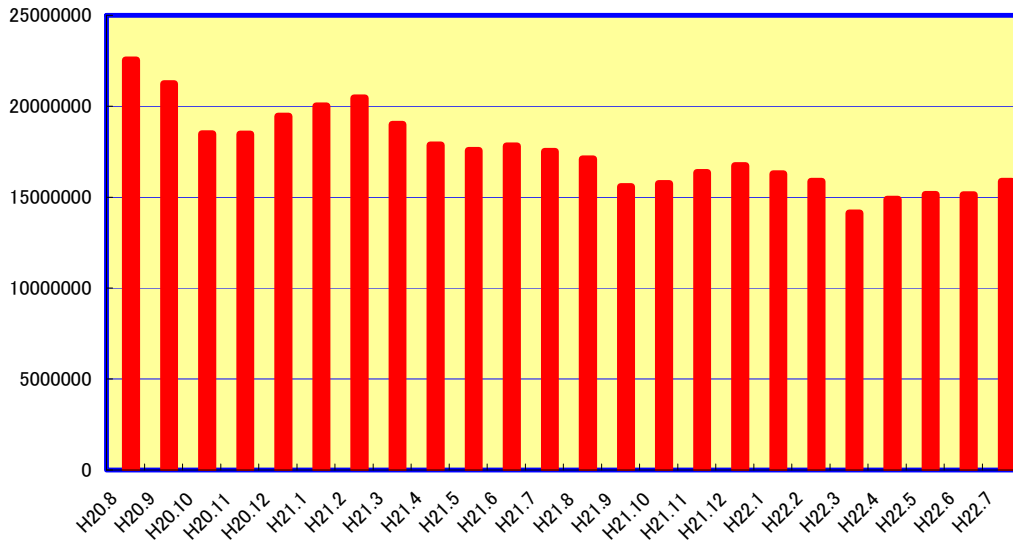
参考資料

短期社債月末残高 (H20年8月～H22年7月)

発行登録企業 : 491社 (発行実績あり 497社)

短期社債月末発行残高

(過去2年間の残高を表示)



7月末発行残高ベスト20

7月末発行残高上位20社

(単位:百万円)

	発行企業名	7月末残高	6月末残高
1	三菱UFJリース	831,700	852,200
2	三井住友ファイナンス&リース	778,700	768,200
3	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	594,630	531,110
4	東京センチュリーリース	540,500	544,900
5	野村証券	484,200	570,200
6	JXホールディングス	443,000	452,000
7	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	434,270	448,120
8	大和証券CM	395,400	413,800
9	三菱UFJモルガンスタンレー証券	382,500	323,300
10	みずほフィナンシャルグループ	380,000	380,000
11	エイペックス・ファンディングコーポレーション	364,030	359,200
12	みずほ証券	349,300	373,900
13	オリックス	341,700	337,800
14	興銀リース	322,700	320,800
15	パナソニック株式会社	300,000	0
16	芙蓉総合リース	295,600	277,100
17	新日本製鐵株式会社	293,000	56,000
18	日興コーディアル証券	279,600	279,600
19	住友信託銀行	257,100	257,300
20	ジェイエフイーホールディングス	228,000	0

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋2丁目4番2号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋1丁目2番3号

加入協会 日本証券業協会